



2014年1月15日

みなさん、こんにちは。2014年最初の「博物館だより」です。

年明け4日（土）から新春特別展「黄金期の浮世絵 歌麿とその時代」【会期：～2月9日（日）まで※会期中無休】を開催中ですが、1月10日（金）には1991年10月13日に開館して依頼、観覧者累計が150万人に達しました。今回は「150万人達成記念セレモニー」の様子と、次回展覧会についてご案内いたします。

1月10日（金）「150万人達成記念セレモニー」開催！！



150万人目の観覧者となったのは西明石在中の上中誠一郎さん（65）・一枝さん（61）ご夫妻です。

150万人目に選ばれた感想は「びっくりしました」とご夫婦で口をそろえていました。一枝さんは「初詣で大吉だったからかな」と笑顔。「この博物館は作品との距離が近くて、隅々までゆっくり見ることが出来るので気に入っている。」と話していました。このセレモニーの為に鎧兜を身にまとった浮田館長から記念品として額入りの浮世絵「手紙を書く遊女の美人画」と新春特別展図録、絵はがき5枚、両国橋を描いたクリアファイルを、館長お手製のエコバッグに入れて贈呈しました。

企画展「くらしのうつりかわり展～昭和の食と台所～」

会期：2014年2月16日（日）～3月21日（金・祝）

9：30～18：30（入館は18：00まで）

観覧料：大人200円、大高生150円、中学生以下無料

当館では開館以来、昭和のくらしを振り返る「くらしのうつりかわり展」を毎年開催しています。本展は、小学校3・4年生の社会科・総合学習の一環として、明石市内・市外から多くの小学校が来館。昭和世代の博物館ボランティアから平成世代の小学生へと、文化を受け継ぐ交流の場としての役割も果たしています。今回の「くらしのうつりかわり展」は昭和の食と台所をテーマに、生活や風景のうつりかわりを振り返ります。

画像④昭和35年給食セット、画像⑤多間新八氏の手記より

★給食も台所も、今とは全然違いますね。古き良き時代を振り返ってみるのもいいですね。



詳しい展覧会情報は当館HPをご覧ください。<http://www.akashibunpaku.com>

次回の「博物館だより」をお楽しみに。